

教材4-B-(4) 資料の活用、分析

② 『用語を使った説明』の解決のために

資料の特徴や傾向を考えるときに使われる主な用語には、次のようなものがある。

○平均値は、資料の特徴を示す代表値として、よく使われる。

$$\text{(平均値)} = \frac{\boxed{\phantom{\text{総度数}}}}{\boxed{\text{総度数}}} \text{として求められる。}$$

○中央値は、資料を大きさの順に並べたときに にくる値である。

○最頻値は、資料の中で最も多くあらわれる値のことであり、度数分布表では、
度数の最も多い階級の となる。

○範囲は、資料の最大値から最小値を引いた差である。

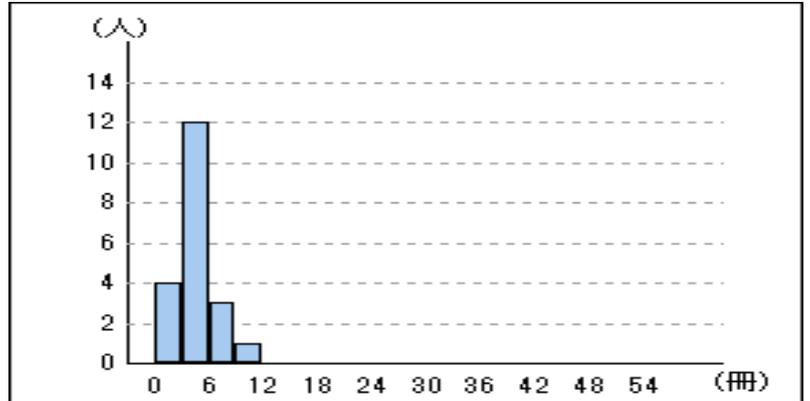
それぞれの持つ意味をよく考えて、説明する内容に合うものを根拠にしていく必要がある。

年
 組
 番名前

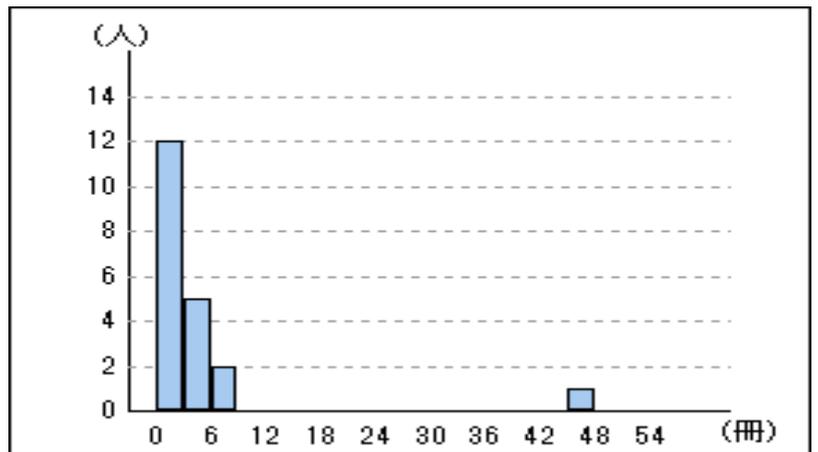
チャレンジ

次の表は、1組と2組の生徒それぞれ20人ずつが、先月1ヶ月の間に図書室で借りた本の冊数を、冊数が少ない順に並べたものです。また、図はそれぞれの組の本の冊数を、ヒストグラムに表したものです。

通し 番号	1組の 冊数	2組の 冊数
1	0	0
2	1	0
3	1	0
4	1	1
5	3	1
6	3	1
7	3	1
8	3	1
9	3	1
10	4	2
11	4	2
12	5	2
13	5	3
14	5	3
15	5	3
16	5	4
17	6	4
18	6	6
19	7	7
20	10	45
	計 80	計 87



【図1】 1組の生徒が借りた本の冊数のヒストグラム



【図2】 2組の生徒が借りた本の冊数のヒストグラム

このとき、あなたは1組と2組ではどちらの方が本をよく読むクラスだと考えますか。

どちらのクラスかを答え、その理由をいくつかの代表値を用いて根拠を示しながら説明しなさい。

組の方が本をよく読む。

<理由>